十号発刊に当つて

本誌もようやく十号を発刊するに至つたことは、まことにうれしいことである。発会以後乏しい経済の中から会誌発行の努力をつくしてきた委員諸氏の辛苦はいうまでもないが、会員諸氏が原稿の寄稿・会費の徴収等に示された熱心が、本誌を今日まで存続した根本的な力であることを信じて疑わない。それとともに、われ〳〵は、三恵印刷社長高井久雄氏の全くの犠牲的奉仕が、その隠れた土台となつていることをも新たに想起し、深く感謝の意を表したいと思う。

本号は記念号たるにふさわしく、岡本良知氏の氏ならでは得ることの出来ない貴重な史料による戦国時代の豊後府内に関する玉稿をもつて飾ることが出来たことは、本誌としてはまことに幸であり、快く投稿を承諾された氏に感謝するとともに、会員諸氏とともに喜びを分ちたい。本誌もこれを機に、内容の充実に一段と力を注ぎ、さらに会誌の仲長に努力しなければならないと思う。会員諸賢の一層の御精進と御支援をお願いする次第である。

（委員長　渡辺澄夫）

会報

本会では本号寄稿の岡本良知先生への感謝と、本会委員長渡辺澄夫氏の大著「幾内庄園の基礎構造」出版祝いを兼ねて、親睦の忘年会を十二月九日（日曜日）催し、両氏の特別講演をも拝聴する予定です。出席希望の方は至急立川（上野町）宛申込み下さい。日時・場所等確定次第御通知致します。

会費納入お願い

昭和三十年度会費　三〇〇円
同三十一年度会費　三〇〇円

未納の方は、会誌発行に支障を来しますので、出来るだけ早くお払い込み下さい。

編輯後記

三号雑誌という言葉がある位、特にこの種雑誌発刊は最も難事であるにもかゝわらず、本誌もこゝに十号を迎えたので、記念特輯号と致しました。各位の御協力を感謝すると共に、岡本先生の御寄稿で花を添えることの出来たのは御同慶に存じます。時下厳寒の折柄会員各位御自愛の上、希望輝やく新年を迎えられ、年と共に本誌の発展致す様一層の御協力を願います。

（立川）

昭和三十一年十一月二十五日印刷
昭和三十一年十二月一日発行
年会費　三〇〇円　分売は本号に限り　頒価　一五〇円
大分県地方史研究会
編輯兼発行人　代表者　渡辺澄夫
印刷人　高井久雄
印刷所　大分市上野　電話一七七五番　三恵印刷株式会社
発行所　大分市駄原　大分大学学芸学部国史研究室内　大分県地方史研究会
（振替口座下関五二九四番）